

前田利定 （利定） 歌人。明治七年十一月十日東京生れ、昭和十九年十月一日歿（一八七四—一九四四）。號鑄川。學智院を了へ、明治二十五年東京帝國大學法科大學備法科卒。司法官、試補として東京地方裁判所に奉職。のち日露戦争に應召、陸軍歩兵中尉に補せられ、近衛俊備歩兵第四聯隊副官に進出。また貴族院議員となり、研究会の領袖として進出、豊前務相を歴任。實業界でも活動した。前田利定（としのり）の實兄。

夙に歌文を能くし、大學卒業後竹柏會に入り佐佐木信綱に師事、『籍

名書』、『支那遊記』（大正二年刊）、『利定紀行』（大正二年刊）、

『利定漫筆』（昭和十八年六月二十日竹柏會）等の著書あり。

